

証明書返信用封筒について

返信用封筒のサイズについて

証明書の種類	封筒のサイズ
卒業証明書 証明書を発行できない旨の証明書	長3（定形）以上の大きさのもの
上記以外※	角3（定形外）以上の大きさのもの

※ 封緘したものをさらに返信用封筒に入れますので、原則として定形外封筒が必要です。

各種証明書の重量について

（返信用封筒の切手料金（基本料金）の参考にしてください）

証明書の種類	発行形態	重量※ ³
卒業証明書	書類のみ	2g 程度/1 通
成績証明書、単位修得証明書ほか	封緘※ ¹	書類：4g 程度/1 通 封筒：5g 程度/1 枚
調査書	封緘※ ²	12g 程度/1 通（封筒含む）
証明書を発行できない旨の証明書	書類のみ	4g 程度/1 通

※1 複数ある場合は1つの封筒にまとめて封緘します（例：成績証明書を5通発行する場合は書類5枚、封筒1枚を返送することとなります）。

※2 調査書1通ごとに封緘します（例：調査書を5通発行する場合は書類と封筒各5つつ返送することとなります）。

※3 重量は目安です。また、これらに加え返信用封筒、切手等の重量がありますのでご注意ください。

☆返信を速達、簡易書留、特定記録等による方法を希望する場合には、当該オプション料金を付加した切手をご用意ください。

例1：卒業証明書を1通郵送申請する場合

定形封筒に基本料金 84 円+簡易書留料金 320 円分の切手を貼付

例2：成績証明書を1通郵送申請し、簡易書留による返信を希望する場合

定形外封筒に基本料金 120 円+簡易書留料金 320 円分の切手を貼付

例3：卒業証明書及び調査書をそれぞれ5通ずつ郵送申請し、速達による返信を希望する場合

定形外封筒に基本料金 140 円+速達料金 290 円分の切手を貼付